

第3回 南部町地域福祉計画推進委員会 議事録

日時 令和7年12月19日(金)14時～16時

場所 国民健康保険健康管理センターすこやか
トレーニングルーム（1階）

1 開会

事務局 定刻より少し早いですが皆さん揃われたため始めさせていただき旨を伝え、開会を宣す。

2 委員長あいさつ

委員長 今日は計画策定スケジュールとしては最終回となる。事前に配布している改定案について意見を伺い、次の印刷の段階へ進めていきたいのでよろしくお願いしたい。

3 議事

（1）第2期地域福祉推進計画の改定案について

委員長 第2期地域福祉推進計画の改定案について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 まず初めに、前回の会議後にパブリックコメントの募集を行ったが意見はなかったことを報告する。

事務局 第2回の策定委員会で委員の皆様からのご提案を受けて、事務局で再度、南部町地域福祉推進計画の改定案を修正した。資料を事前に配布しているため、細かい説明は省略し、変更点のみ説明したい。

それでは、資料「南部町地域福祉推進計画（改訂案）」を手元に準備いただきたい。まず4ページについてである。前回追加した（2）「地域共生社会の実現」について、他のページとまとめ方を統一した。

また、5ページ「地域共生社会の実現に向けた取組」の上部に記載していた「社会福祉連携推進法人制度の創設」については、他の項目とは性格が異なるため削除した。

次に、7ページ（5）「子育て支援制度の動き」の一番下にある「こどもの表記について」の注釈部分を、他の注釈と同様のまとめ方となるよう変更した。

続いて 17 ページについてである。上段のグラフ内にある人口の数字の位置関係を修正するとともに、表記を「南部町の人口の推移」から「人口・世帯数の推移」へ修正した。また、下段の注釈に「2025 年の数値は南部町基本台帳人口を基に算出したものを追加した。19 ページ (4)「地域振興区別にみた人口階層」について、2025 年のデータを追加した。

29 ページについて (4)「あいのお銀行」について、2024 年に利用会員が大幅に減少した理由を注釈ではなく本文中に追加した。また、あいのお銀行の説明を注釈及びイメージ図で追加した。35 ページについて中段下の 2 (1)「役員の負担」の 2 つ目の◆にある「また、～『ふれあい部』など地域の役員の機能の複雑化」を「重複」へ変更した。

44 ページについて重点取組 3「共生型総合相談体制の構築」の図について、中段にある「支援を検討する実務者会議、地域ケア会議」に「自立支援協議会」を追加した。また、下段の「住民に身近な相談窓口」と「町役場各課、町社協、関係機関が連携した支援体制」の間に「重層的支援体制事業」を位置付けた。

52 ページについて文中の「地域福祉活動の方向性と社協の役割」の記載のうち、「福祉作業所」となっていたものを「福祉事業所」へ変更した。

最後に 68 ページについて下段の「計画の進行管理」について、3 行目から 9 行目にかけて文章を追加し、その内容を次ページ 69 ページ上段でフローチャートにより説明した。簡単ではあるが、以上で地域福祉推進計画の改定案の説明とする。

委員長 17 ページの南部町の人口・世帯数を新たに付け加えたところ、下の注釈で出展：総務省「国勢調査」・南部町住民基本台帳人口（参考）とあるが 2025 年については南部町の住民基本台帳とした方が分かりやすいのではないか。

事務局 修正する。

A 委員 17 ページで、上の方は令和 2 年（2020 年）で、グラフの方は 2025 年となっているが、2025 年の数字を本文に持ってきた方が見やすいのではないか。

B 委員 2025 年のところ下でも上でもよいのでグラフの中にも、（参考）とすると丁寧である。

事務局 修正する。

C 委員 国勢調査と住民基本台帳との結果の誤差はどれくらいか。かなり誤差があると思うが。どちらを大事にするのか。どちらかを統一した方がよいのでは。

事務局 基本は国勢調査であるが、たまたま改定の年が国勢調査の年で結果が出るのに時間がかかるので、代わりに統計資料として住民基本台帳を活用したと言う整理である。

D 委員 6 ページの図が見にくいのではないか。

事務局 たまたまこのような形になったが、印刷する時には鮮明なもので発注する。

E 委員 7 ページで下から 4 行目の出だしの令和 7 年 4 月からの部分が、その次にまた出てくるためいらぬのではないか。

事務局 先ほどの指摘の「令和 7 年 4 月から、」の部分を削除する。

F 委員 18 ページの表について、大国地区の世帯数が増えているのに本文には載っていないのはなにかあるか。

事務局 大国地区を含めて記載する。

B 委員 17 ページ、18 ページの数字のところで、17 ページの人口の 2025 年のところが、9986 人となっているが、18 ページでは 10 月 1 日基準日で 9845 人となっている。同じ住民基本台帳と言いながら数字がずれているためそろえておくほうがよいのでは。

事務局 基準日が違っていただけ数字を合わせる。

B 委員 30 ページのあいのお銀行の空欄の部分は件数がないのか、把握ができていないのか。0 であれば記載しておいた方がよい。

事務局 空欄は実績なしのため、0 とする。

副委員長 22 ページの下段は空白になっているが何か文字が入るのか。

事務局 年度の記載漏れのため修正する。

副委員長 (7) 南部町人口の将来推計で、本町の人口は、令和 2 年となっている。2020 年において 10,323 人の部分を国勢調査の数字として参考数値として出しているが、

国勢調査の数値としても相違はないか。正確な数字ということで令和 2 年の数値を用いて減少しているとするのか、それともさらに 1 万人を切っていてという表現にするのか。

B 委員 令和 2 年以前は推計値と書いてあるが、令和 2 年以降が推計値ではなかろうか。わかりやすくするのであればグラフに一工夫して、2020 年までが実績、それ以降が推計なので、縦に点線を入れておくと齟齬がない。グラフを縦に伸ばし元号を入れてはどうか。

事務局 西暦と元号を併記する。

C 委員 24 ページの身体障がい聴覚も含むか。

事務局 聴覚も含んでいる。

G 委員 テキスト文書は和暦、表は西暦で南部町では決まりがあるか。

事務局 全体的に統一する。

B 委員 15 ページの計画がいくつかあって、地域福祉推進計画の立ち位置は基本構想の下にくるが、実は地方創生総合戦略ともかなり影響していてそれを書き出しておいた方がよいのでは。総合計画の下あたりに地方創生総合戦略がありそれと他の計画がつながっている。

事務局 付け加える。

H 委員 22 ページの (7) で本文に「1,887 人減少しています。」の数値が計算してみると数字が違うがどうか。

事務局 計算してきちんとした数字にする。

事務局 22 ページの下の方グラフについて、推計ではなく推移ということになるのではないか。

B 委員 そのグラフで何を見せたいかということになるが、2000 年からの動きを見せたのであれば推移となるが、ここは本来 2020 年以降の話をしていないといけないと思

うが中途半端な書き方になっている。人口推計と書くのであれば2025年以降のところにフォーカスしたほうがよいがそんなに書いていないため、タイトルと内容に齟齬を感じる。

事務局 下がっているということを見せたいため、推計の方向で、そのあたりを付け加える。

A 委員 42 ページ中段の健康増進委員は来年度より廃止と理解しているがどうか。

事務局 健康増進委員は町からの委嘱は終了となる。その後は、各協議会との相談となり、必要なところは継続する。

A 委員 ある集落もあればない集落という理解でよいか。

事務局 はい。

委員長 皆さんに諮りたいが、この改訂版においては大筋賛同いただけたか。

(委員一同了解したことを確認した。)

その他細かいところは、印刷の校正段階で事務局のほうで修正してもらうように願います。

B 委員 誤字脱字ではないもので少し意見がある。63 ページ、きめ細やかな就労支援体制づくりのところで、重層的支援体制整備事業の出口にあたる部分になるが、ここで JOCA やいくらの郷が包括支援体制の入口のところで様々な課題を把握する位置づけになっている。

一方出口の方で就労体制づくりにコミットしているのに名前がないのはバランスが悪いので工夫をしてみてはどうか。要は地域福祉活動の方向性の中に、「JOCA やいくらの郷が中心となっていていろいろな団体と連携しながら多様な就労の場の提供を図ります。」のような文言が入るようなかたちと思う。

事務協 中間的就労とあわせて農福連携の事についても助言をいただき、この計画の中に JOCA といくらの郷を入れた方が良いのではという指摘か。

B 委員 包括的支援体制の入口ところにはすでに名前が入っている。実際に合わせて入れた方がよいのではないか。

事務局 ミーティングを重ねており、実際には動きつつある。入れておく。

(2) ロードマップの見直しについて

委員長 続いて (2) のロードマップについての説明をお願いします。

事務局 当日資料としてロードマップの説明を行う。地域福祉推進計画の進捗管理の目安として毎年3月に評価で活用してきた。ただ活用や評価のし辛さの意見をもらっており、見直しをさせてもらいたい。事前に各協議会を回り説明をしているが、ロードマップについては、福祉計画の重点取組を具体的に掲げ目指す姿を KPI とし指標としている。今回の改定で一部変更をしており、これを踏まえて活用しやすいようにしたい。変更点は、毎年評価をしていたが、今後は、2 年目、4 年目として5 年目に次の改定の際に地域福祉推進委員会で改定を検討していけたらと考えている。令和7 年度については、今年度総合評価としていきたいと考えている。

資料の新旧で書き方の変更を説明する。今までは、地域振興協議会・社協・行政でそれぞれに実績を書いていた。今は、各地域振興協議会で福祉推進事務局会議も立ち上がり、行政・社協も入っている。進捗会議等で計画や進捗をまとめて記載し、協議会・社協・行政で一緒になって計画を進めていきたいと考えているため書き方の変更を提案したい。

C 委員 地域振興協議会がよいならよいのではないか。

事務局 いかに進めていくのに一緒になって取り組んでいくのが大切と思っている。

B 委員 現場サイドで使いやすいようにしていくことは必要と思っているが、役割分担の中でできたこと、できなかったことを把握できるようにしてほしい。この表では、計画と実績だけであれば課題が見えないので、もう1 段増やして課題を付け加えてはどうか。

事務局 課題を付け加える。

委員長 評価基準で加わった部分がある。その説明はしているか。

事務局 前回の委員会の時に話をしており、すでに運用済みである。

委員長 計画、実績、課題としてそれぞれ書ける表を作ってもらおうということでお願いします。

る。ロードマップについては、これで進めていくこととする。

質疑応答

4 その他

地域福祉計画推進委員会（令和 7 年度地域福祉計画取り組み評価）

（案）日時：令和 8 年 3 月 27 日（金）14：00～

場所：キナルなんぶ 多目的ルーム

委員長 その他についてお願いしたい。

事務局 毎年 1 回取り組みに対しての評価の会を実施している。今年度の日程は、令和 8 年 3 月 27 日（金）14：00～キナルなんぶにて行うこととしている。年度末の忙しい時期だが参加をお願いしたい。

委員長 委員のみなさんからその他なにかないか。

I 委員 改訂版以外で、ダイジェスト版は作成するか。また、住民向けの説明会は考えているか。

事務局 ダイジェスト版を作成する。説明会は全体では考えていないが、各協議会で希望があれば出かけていき計画の内容や地域福祉に関することは説明を考えている。

I 委員 全戸配布でよいか。

事務局 冊子本体は重たいため、ダイジェスト版を全戸配布する予定。ホームページにも掲載する。ダイジェスト版は内容を圧縮してある。

委員長 ダイジェスト版を全戸配布。住民説明については、事務局の方へ相談をお願いしたい。

5 閉会

他に意見がないことを確認し、閉会。